



広報

まじょう

2012
7月号
No.338



岩戸の渡邊さん宅にて撮影

NEWS INDEX

- 特集：木城町国民健康保険の現状と課題
- まちの話題
- いぶき No. 86
- 人間萬歳・農業委員
- 文化財よもやま話 61
- えほんの郷だより・町の人口



木城町マスコットキャラクター
キックンとクウちゃん

情報提供・お問い合わせ先 <Eメール> soumu@town.kijo.jp
ホームページアドレス <URL> <http://www.kijo.jp/>

○木城町国保の状況（平成24年3月31日現在）

- ・ 加入者数 1,836名
 - ・ 世帯数 987世帯
- 木城町の人口に占める割合
人口比：34.2%（世帯比：45.0%）

①平成23年度 木城町国民健康保険特別会計 決算見込

- 歳入 9億 190万7千円
- 歳出 8億 1,833万9千円 の見込みとなりました。

歳出で特に伸びたのが保険給付費で、昨年度より約7,356万4千円、20.2%増加しています。

これは宮崎県内の市町村の中で 1番の伸び率 となっています。

〔※なお、歳入から歳出を引いた8,357万円は、平成24年度に繰越して平成24年4月から6月の医療費の支払いに使う仕組みとなっています。〕

歳入 9億 190万7千円

その他

(前年度からの繰越金など)

8,129万9千円

繰入金

(町の一般会計からのお金)

9,537万5千円

県支出金(県からのお金)

3,714万4千円

共同事業交付金

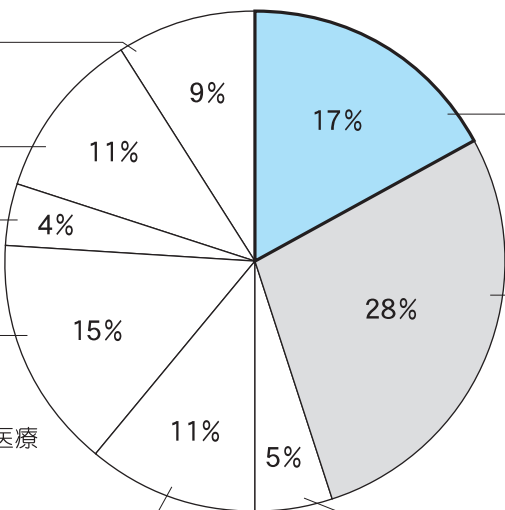
(高額な療養費の発生による財政負担を緩和するために交付されるお金)

1億3,769万3千円

前期高齢者交付金

(65歳～74歳の前期高齢者の医療費に対して交付されるお金)

9,556万4千円



国民健康保険税

(皆さんに納めていただいたお金)

1億5,398万7千円

国庫支出金

(国からのお金<補助金>)

2億5,127万5千円

療養給付費交付金

(退職被保険者医療費に対し交付されるお金)

4,957万

保健事業費

(特定健診やがん検診に使うお金)

937万3千円

共同事業拠出金

(高額な医療費発生による財政負担を緩和するための財源として拠出するお金)

9,887万2千円

介護納付金

(第2号被保険者負担分、介護に支払うお金)

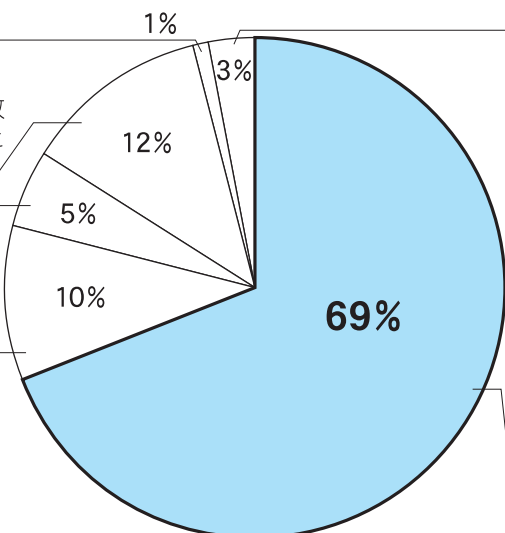
3,878万5千円

後期高齢者支援金

(後期高齢者医療の支払いに使うお金)

7,986万9千円

歳出 8億 1,833万9千円



総務費

(国保事務に使うお金)

2,603万5千円

保険給付費

(皆さんが病院等で負担した医療費の残りを国保が負担するお金)

5億6,397万7千円

② 保険税の減収と滞納の問題

表の1は、木城町国保の被保険者数を表したものです。毎年、被保険者が減ってきています。被保険者が減ると、その分保険税の収入も減っていきます。

これに加え、長引く景気の低迷と口蹄疫の発生や震災などの影響により、被保険者の所得も減っています。国保税は所得に応じて課税するため、所得が増えないと国保税も増えません。

表の2は、国保税の収納状況を表したものです。23年度は口蹄疫の補償金が所得と見なされ、保険税に反映された関係で増加していますが、それがなければ減少していたと思われる。

ここで問題となってくるのが、保険税の滞納です。

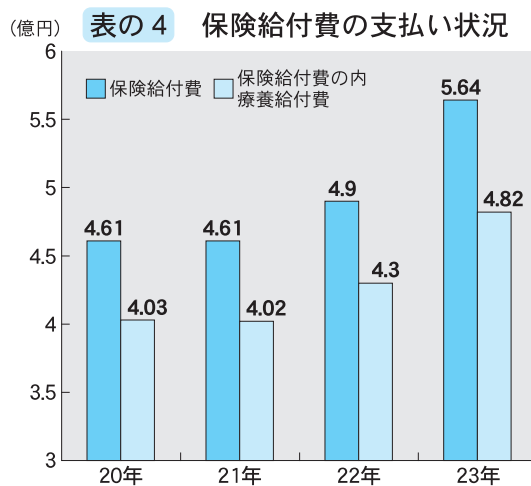
表の3は、保険税の滞納状況です。本来必要な保険税が納付されないと、その分の財源が不足して、医療費を支えなくなる恐れがありますので、被保険者の皆さんに不足分を補っていたただかなければなりません。

そこで保険給付の担当では、給付の制限や、短期間の被保険者証、資格証の交付によるサービスの制限をかけています。

また、税務課では滞納整理に対し、厳しい姿勢で取り組んでいます。財産や給与の差押えなどありますが、詳しくは次号以降で紹介します。

③ 増えつづける医療費

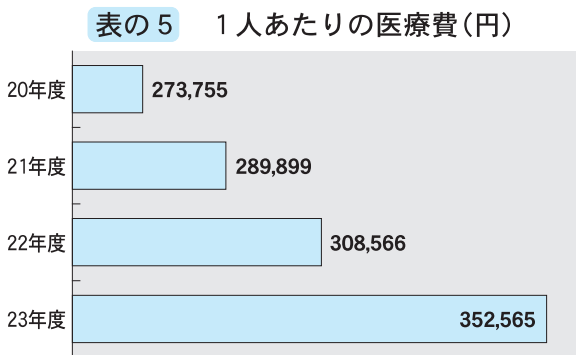
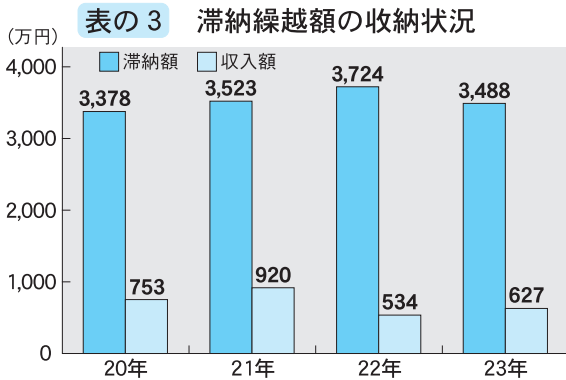
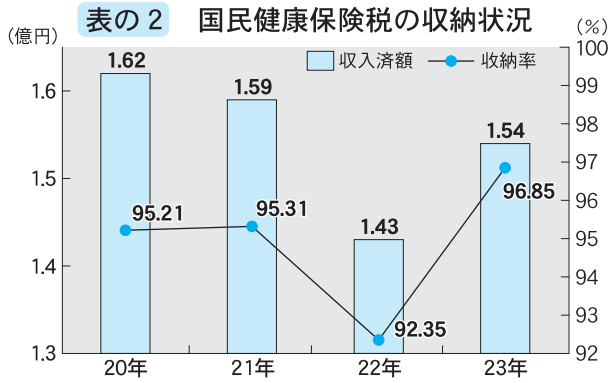
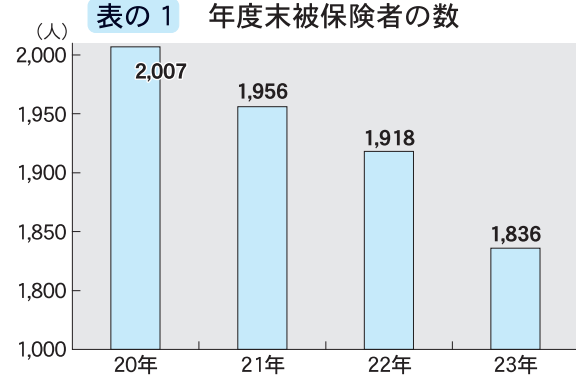
はじめに、表の4をご覧ください。



※保険給付費は、全ての医療に掛かった費用の国保支払い分

※療養給付費は、皆さんが病院等で負担した残りの国保負担分

次に、表の5をご覧ください。



この23年度の伸び率が宮崎県で1番なんだ



次のページへ

③ 増えつづける医療費（続き）

最後に、表の6をご覧ください。

表の6 高額療養費の支給状況(円)

20年	4,825万
21年	4,933万
22年	5,010万
23年	7,579万

※高額療養費とは
被保険者の医療費負担を軽減するための救済策で、所得に応じて、世帯あたりの1ヶ月の自己負担額が定められており、その限度額を超えた医療費を、国保が医療機関または本人に支払う療養費。

ここまでの表を見ていただいて、最近の医療費の増え方を実感してもらえたと思います。その要因として考えられるものがいくつかあります。

- ① 生活習慣病の放置による大病
- ② 適正な受診をしていない
- ③ 適切な治療を受けていない

また、医療の高度化に加え、国保に占める高齢者の割合が年々高くなっており、医療費の増加が避けられない状況です。

④ 24年度税率改正について

今年度の保険税をこれまでの税率で試算をしたところ、平成23年中の所得が大幅に下がっており、昨年度より約2千5百万円の税収減となることが判明しました。

4年間税率を据え置いてきましたが、税収を確保するには税率を改正せざるを得ません。

※詳細は7月号の木城町国保だよりをご覧ください。

皆さんの医療費の増減が、保険税の決定に大きく影響します。

⑤ 皆さんにお願いしたいこと

◆ 健診を毎年受けてください

医療費を見直すには「予防」が一番効果があります。年に一度健診を受けて健康を管理しましょう。異常を早期に発見し早期の治療が可能になります。特に生活習慣病は予防と改善が重要です。

◆ かかりつけ医師をみつけて

重複・多受診をしない！

信頼できるかかりつけ医師を決めて、何でも相談し医師の判断と紹介で専門の医療機関を受診するように心がけましょう。自己判断で複数の病院を受診しない。お薬手帳は必ず提示しましょう。

◆ 治療を遅らせない・やめない

医師に相談し治療を始め、適切な指導のもと治療を継続しましょう。折角、早期発見できても治療しなければ意味がありません。

◆ ジェネリック医薬品の活用

ジェネリック医薬品にすることで医療費を削減できます。医師又は薬剤師にご相談ください。

◆ 生活習慣を見直しましょう

バランスの取れた食事、軽い運動、そしてたっぷり睡眠をとりましょう。家族みんなで健康管理に心がけてください。

結びに、年齢や遺伝、生活習慣など、病気の発症リスクは様々ですが、皆さんがそれぞれ日々の生活で意識して健康に注意することが、お互いを支え合うことにつながります。

本町では皆さんの健康を心から願い、生活習慣病の改善や保健指導など、関係機関と連携して支援を行っています。

木城町国保は被保険者が互いに支え、助け合って成り立つ保険です。皆さんの協力なくして国保は維持できません。皆さんのご協力をお願いします。

木城町国民健康保険

(町民課・3214736)

川原自然公園では、ゴールデンウィークを中心に、人工プールで釣り堀が行われ、親子連れやキャンパーなど、多くの来場者で賑わいました。釣った魚（ニジマス、ヤマメ）は、その場で塩焼きにし、美味しそうに食べていました。約2000匹が全て釣り上げられたそうです。



釣りの堀大好評！
〔4月28日(土)〜
5月13日(日)までの9日間〕



九州電力の小丸川発電所を見学（ガイド付き）する観光バスが運行開始しました。当分の間は、火・木・土・日・祝祭日に午前10時と午後2時の2回運行します。出発時間の1時間前からピノックパーク内で受付しています。ただし、事業の性質上、小学生以上の利用に限られます。

発電所見学バスが
運行開始！
〔4月28日(土)〜〕

今年も町体育館に330人の選手が集まり、赤団と白団に分かれて楽しく、賑やかな競技が繰り広げられました。当日は、最高齢者の荒川ツツコさん104歳が車椅子競技に参加、また、101歳の原野茂さんは、中央保育所の園児らと元気に「大玉ころがし」の競技に参加し、会場を大いに盛り上げていました。



元気いっぱい！
福祉スポーツ大会
〔6月1日(金)〕



みんなに会うために、いろいろなお祭りやイベント会場に行くから、よろしくね！

*名 前 クウーちゃん
*性 別 女の子
*出身地 木城町
*種 族 アオバトの妖精
*性 格 物静かな性格で、とっても優しい。

木城町のマスコットキャラクタ「クウーちゃん」のお相手が登場しました。

キックンの恋人？
「クウーちゃん」登場！

公民館長会について

4月26日(木)に公民館長会が行われました。平成24年度の各公民館長が集まり、活動補助金の申請、公民館活動の保険等について説明を行い、公民館活動の充実に繋げる会となりました。

また、会終了後は、平成24年度の自治公民館連絡協議会の総会も開催され、昨年に引き続き山下捷夫氏(出店)が会長に選出されました。

今年度も公民館活動の更なる充実に向けて、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

7月8日(日)午前9時30分から 町体育館で町民体力づくりスポーツ大会(ミニバレーの部)開催!! 各地区の積極的な参加をお待ちしています!!

町民体力づくりスポーツ大会
(軟式野球の部)

5月13日(日)に町民体力づくりスポーツ大会(軟式野球の部)が開催されました。合計11チーム(12地区167名)の参加申込があり、町内3会場で熱戦が繰り広げられました。各クラスの成績については、次のとおりです。

	第1位	第2位	第3位
木城町総合運動場 (Aクラス)	在	中椎木	出店
山塚運動広場 (Bクラス)	岸立団地	田神	比木 新岩戸
木城小グラウンド (Cクラス)	向河原 立山	リバーサイド コスモス	中川原住宅 田畑



白熱した試合状況

宮崎の神話にふれよう・一ツ葉ビーチ浜遊び

5月27日(日)に木城町子ども会『宮崎の神話にふれよう・一ツ葉ビーチ浜遊び』を開催しました。今年度は宮崎市の江田神社で神社での作法や神話の語り部体験、サンビーチ一ツ葉で砂の造形体験を行いました。

砂の造形体験では3班に別れ、それぞれ思い思いに製作し、各班ともに協力しあい素晴らしい作品が完成しました。そして優秀賞は『海の小人のお城』に決まりました。(写真右)

この事業を通して、神話の世界にふれ、地域の異年齢の子ども達や家族がふれあい協力しながら、子どもを育てていくことの大切さを実感しました。

砂の造形体験
(キックン製作中)

優秀賞

福寿大学町外視察研修

4月20日(金)から5班に分けて研修を行いました。今年は古事記編さん1300年の年にちなんで、神話の舞台である江田神社及びみそぎ池で語り部を中心に研修しました。宮崎市神話・観光ガイドボランティア協議会岡田会長によるユーモアを交えた説明に学級生の皆さんは古事記の世界に惹きつけられ有意義な研修となりました。



岡田会長によるみそぎ池での説明

高城合戦を伝える会について

5月12日(土)の午前10時から「高城合戦を伝える会」の開講式が行われました。

この会は、本町の史跡である高城(現在の城山公園)を舞台に九州の関ヶ原として広く知られる高城合戦について深く学習し、史跡ガイドの人材育成を目指すことを目的とした会で昨年より実施されています。

当日は、年間事業計画(年8回予定)の説明と講座「天正6年の戦い」(説明:教育課 白岩 修)があり、15名の参加者が熱心に聞き、町内の歴史について楽しく学ぶことが出来ました。



講座の様子

次回開催予定: 7月7日(土)午前10時から リバリス2階大会議室で「絵図、文献から見た高城合戦」を開催いたします。是非ご参加下さい。

教育委員会だより

5月1日(火)と6月5日(火)に定例教育委員会が開催されました。

- ① 教育委員会事務局報告
- ② 教育委員月例活動報告について
- ③ 教育長報告について
- ④ 準要保護児童生徒の認定について
- ⑤ 教育委員会評価報告書について
- ⑥ 平成24年度一般会計補正予算(第1号)について

等が報告・提案され承認となりました。

木城町青少年育成町民会議総会

5月22日(火)平成24年度木城町青少年育成町民会議総会が開催されました。

主な事業として、読書感想文コンクール、夜間巡回指導、青少年育成町民大会を開催し、関係団体をはじめ、地域等が連携しあって、青少年の健全育成を図ることを確認しました。



総会の様子

木城っ子応援隊・木城っ子安全守る隊 隊員募集中!! 地域みんなで地域の子どもを見守っていきましょう。

7・8月に実施される生涯学習関連事業(予定)

●全町民対象事業

- 7月 7日(土) 高城合戦を伝える会第3回講座(リバリス)
- 7月 8日(日) 町民体力づくりスポーツ大会【ミニバレー】(町体育館)
- 8月21日(火) 自治公民館親善バレーボール大会(町体育館)~22日

●青少年教育対象事業・学校行事

- 7月29日(日) 町子ども会ふれあいレクリエーション大会(町体育館)
- 8月17日(金) ふれあいのつばさ交流事業(沖縄県うるま市)~20日

●高齢者・女性対象事業

- 7月23日(月) 福寿大学中央・石河内合同学級(リバリス)
- 7月26日(木) 中央婦人学級(リバリス)
- 8月17日(金) 福寿大学・中央学級(リバリス)
- 8月23日(木) 中央婦人学級(リバリス)
- 8月24日(金) 福寿大学・石河内学級(石河内公民館)

行事などについては、教育課 社会教育係までお問い合わせください。【電話:32-2369】

NinGenBanZai 人間萬歳

このコーナーは、毎回、町内在住・勤務されている
いろんな方々に登場していただきます。
さて、今回登場するのは、この人！



いけ べ たか ひと

池部 敬仁 さん (35歳) 田神

☆お 仕 事：診療放射線技師

☆趣 味：ゴルフ・野球・釣り

☆家族構成：妻・長女・長男・次女の5人家族

●自己紹介

木城に帰って来て、早5年が過ぎました。建物や
景色は変わっていきますが、人の温かさが変わら
ないのが木城のいいところですね。木城町に帰っ
て来てよかったと思います。

(都会には無い、大事なものが「木城」には、いっっぱいありますよね！)

●最近の出来事！

長女が高鍋のゴルフスポーツ少年団に、長男は木城の野球スポーツ少年団・スポーツクラブ少年団に通っ
ています。汗を流して楽しそうにまた、一生懸命に体を動かす姿を見ると親としても嬉しくなります。体力的に
もまた、精神的にも強く育てて欲しいです。

(ゴルフ少年団があると聞いてびっくりしました。いろんな種目があるんですね。)

●その他・・・コメント

趣味でゴルフをしてるんですが、この間、ベストスコア 82 が出ました(嬉)。その次は100でしたけど……。
子供達に負けられないように自分も体を動かして、健康に気をつけたいと思います。

(スコアが安定しないところもゴルフの面白さですよ。ちなみに私は、ず〜っと3桁で安定してます。(泣))

農業委員に堀田さんを選任



ほり たけい いち
堀田 計一 さん

(湯屋ヶ坂)

農協の推薦を受け、
5月1日付けで、農業
委員に選任されました。

《コメント》

担当地区は、町・在
一円です。

農業を取り巻く環境
も益々、厳しくなっ
ています。地域の農業、
農地を守るためにも頑
張ります。

「教科書の歴史から見た木城町」10 かたいやきもの(須恵器)について

現在の日本の音楽はK-POP、海外ドラマは韓流ドラマとエンターテインメントの部分で韓国ブームが広まってきています。今から約一五〇〇年以上前の古墳時代にも韓国方面(当時は朝鮮半島と言います。)から日本に大きな文化が伝わってきました。その一つが今回紹介する須恵器であります。

須恵器とは、灰色に焼けた硬い材質の古墳時代から平安時代にかけて使用された土器のことであり、宮崎県のみならず、全国的に見つかっています。

この須恵器は、古墳時代では、当時の墓である古墳にお供えとして使用されていたようであり、当時の生活の道具とは違った形で利用されていたようです。

町内では、昭和五十八年の山塚運動広場の造成工事に伴う発掘調査で見つかっています。(写真①・写真②)出土状況から木城村古墳(県指定史跡)に関連する須恵器だと考えられます。時期は文様や特徴から六世紀半ば頃のものだと思われまます。

なお、この須恵器の製作方法は、粘土紐の積み上げによって形を作り、ロク口による回転台を利用して削り、叩き、指で撫でたりして調整し(イラスト①)、それが終わった後、丘陵の傾斜面を利用した登り窯にて焼き上げ、仕上げていきます。(イラスト②)

以上のように須恵器について今回は紹介いたしました。隣国である朝鮮半島の特長技術を取り入れ、新たな文化の成熟に繋がったこの資料を通して、私達は異なる価値観を柔軟に受け入れる大切さを知ることが出来ます。

※ なお、今回紹介した須恵器は、総合交流センター2階資料展示室に展示しています。興味のある方は教育課(32-2369)までお尋ね下さい。

(教育課 白岩 修)



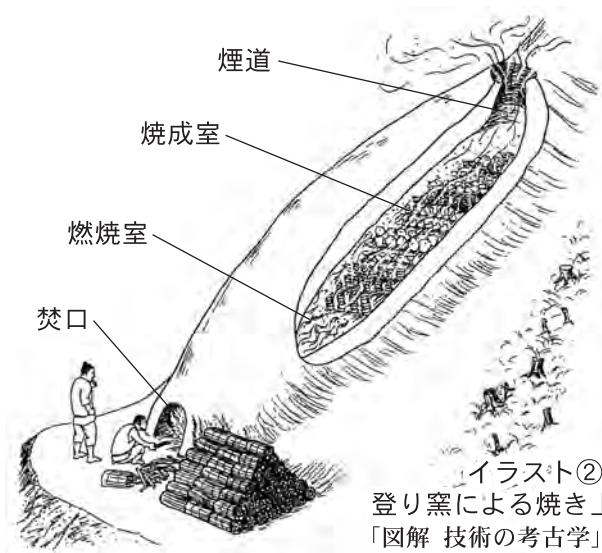
須恵器が見つかった木城村古墳
(場所：山塚運動広場)



写真②
発掘調査で見つかった須恵器②
(坏)



写真①
発掘調査で見つかった須恵器①
(甕の一部)



イラスト②
登り窯による焼き上げ状況
「図解 技術の考古学」より引用



イラスト①
須恵器の製作状況
「図解 技術の考古学」より引用

(参考文献)

- 「宮崎県史 通史編 原始・古代Ⅰ」一九九八年
- 「土師器・須恵器の知識」考古学シリーズ⑦ 東京美術 一九八四年
- 「図解 技術の考古学」潮見 浩 有斐閣選書 一九八八年

はさみからうまれる
自然のかたち



今森光彦切り紙ミュージアム

2012年7月14日(土)～9月2日(日)

里山に暮らし、自然と人間と生きものたちを撮り続けてきた写真家・今森光彦さんの切り紙の世界。

写真よりはるか以前に出会っていた美意識の表現という今森さんの、はさみから生まれ出た切り紙の世界は、生きものへの愛情と深い想いにあふれている。そこからきっと、風の音やにおいが感じられるだろう…。

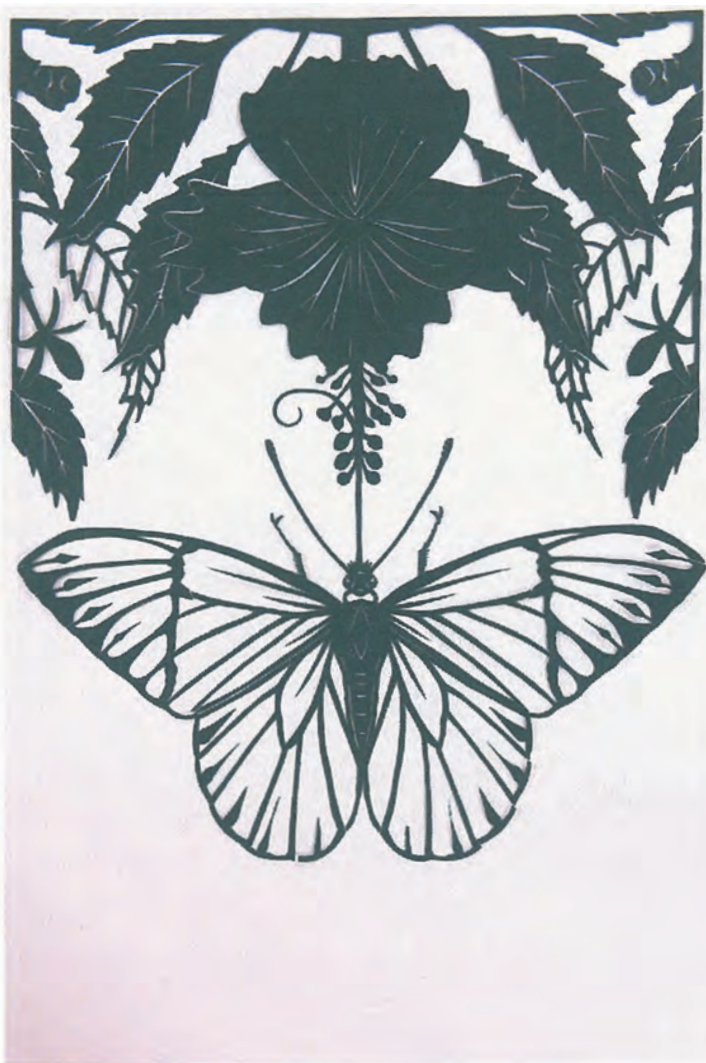
木城えほんの郷の夏の日をどうぞお楽しみください。

料金 大人500円／小中高生300円

～今森光彦 里山虫むし合宿～
8月18日(土)～20日(月)



参加申込みは木城えほんの郷まで！



—今村光彦の切り絵美術館より—

木城えほんの郷のお米作り！

木城えほんの郷は、今年からお米作りをします。
イネを育てて、お米を作り、秋の収穫を祝って、ごはんをいただく。
来る春の土づくりのはじまりに、レンゲソウのたねまきをして、
この郷の四季めぐりとともにお米作りをする楽しいワークショップ！
一年を通して自然体験、生活体験をしていきます。

みんなで田植えをしたよ！

6月10日(日)

梅雨の晴れ間の日曜日！

木城えほんの郷では『木城えほんの郷のお米作り』として、田植えを行い、
県内外から約78名の参加がありました。

ほとんどの方が初心者でちょっぴり不安でしたが、地元石河内地区の方たちの
協力と応援のおかげで無事田植えをすることができました。

最初はワーワー、キャーキャーと悲鳴に近い声を発していた子どもたちですが、
10分後にはみなド口の中…

楽しい一日を過ごしました。

☆いま、木城えほんの郷では、
「版による絵本の世界 木城えほんの郷コレクション展」を7月1日(日)まで開催しています。

【町の人口】 (24年6月1日現在) ●人口 5,139人 (先月比-11人) ●男 2,389人 (-11人) ●女 2,750人 (±0人)
【世帯数】 1,935世帯 (先月比-3世帯) 【町面積】 146.02km²
【発行】 木城町役場 〒884-0101 宮崎県児湯郡木城町大字高城1,227-1 TEL.0983-32-4725・FAX.0983-32-3440
【編集】 総務課